

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2020 No.534

6 / 1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



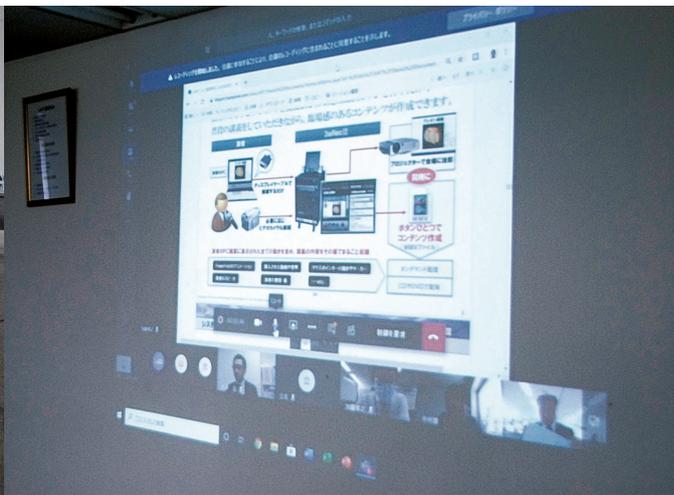
2020年度 第1回理事会 (Web会議) 開催される

2020年4月25日(土)午後1時より、2020年度第1回理事会在開催された。出席者数は25人であり、本理事会は成立した。理事会としては初めてのWeb会議システムを用いた開催であったが、滞りなく進行された。

開催に先立ち、中澤会長より3つの話があった。1つ目は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止措置により、講習会やセミナーなどが相次いで中止となっているが、対策関連の情報をホームページなどにより会員に発信すること。2つ目は、厚生労働大臣をはじめ各関係方面に対し、本会から「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を提出したこと。3つ目は、第7回医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会はCOVID-19の影響により中止となったが、診療放射線技師の業務拡大につながるものとして、万全の教育体制の整備を前提として継続的に推進していく方針が示された。

主な議題は、「第81回定時総会議題について」「2019年度事業報告(案)について」「2019年度決算(概算)報告(案)について」「諸規程改正(案)について」「2019年度収支相償による解消計画について」「新型コロナウイルス感染対策における第81回定時総会開催について」「新型コロナウイルス感染対策における第36回学術大会開催について」「災害支援診療放射線技師行動マニュアルについて」「学術大会における情報システムについて」「e-ラーニングコンテンツ制作のための機材導入について」「日本の診断参考レベル(2020年版)(案)について」「50年勤続表彰について」「30年勤続表彰受賞に伴う会費終身免除の運用について」「天皇陛下御即位奉祝事業の協賛について」「各委員会の委員について」「会誌目次案・Network Now台割案について」「入退会者・除籍者・免除者の承認について」であった。

報告事項は、「2019年度期末監査報告」「執行理事報告」「会



員動向報告」「タスク・シフト/シェア推進検討会報告」「結核研究奨励賞受賞について」「学術教育委員会報告」「新生涯教育システム委員会報告」「国際委員会報告」「編集委員会報告」「広報委員会報告」「調査委員会報告」「会員情報システム委員会報告」「災害対策委員会報告」「統一講習会実施運営委員会報告」「診療報酬政策立案委員会報告」「医療安全対策委員会報告」「入会促進委員会報告」「人材育成委員会報告」「国家試験問題評価委員会報告」「主任者定期講習運営委員会報告」「新事務所移転実行委員会報告」「臨床実習指導施設登録報告」「業務改善推進委員会報告」「倫理委員会報告」「第36回学術大会開催について」「本年度ワークショップについて」「地域理事報告」「医療被ばく低減施設認定更新報告」「委員会報告」であった。

議題の「新型コロナウイルス感染対策における第81回定時総会開催について」では、書面表決による開催形態の変更について、票の集計方法、議案の質疑・答弁方法などが挙げられた。本会としても初の試みとなるため、総会運営委員会との協議内容を基に定款ののった運営となるよう、慎重な協議が進められた。「新型コロナウイルス感染対策における第36回学術大会開催について」では、中澤会長および立

花大会長よりCOVID-19による社会情勢などを踏まえて、5月末の時点で開催・延期の判断を行い、延期の場合は2021年2月11日(木・祝)～13日(土)が候補であることが示された。「諸規程改正(案)について」では、熊代副会長より、新たに「医の倫理審査規程」の制定について説明された。「災害支援診療放射線技師行動マニュアルについて」では、江藤理事より災害支援認定診療放射線技師の輩出を受けてマニュアル案が提示され、本理事会で承認の後、施行する提案がなされた。「日本の診断参考レベル(2020年版)(案)について」では、熊代副会長より新たなJapan DRLs 2020が説明され、本会としての見解と賛同する意向が示された。「天皇陛下御即位奉祝事業の協賛について」では、天皇陛下御即位奉祝委員会より依頼を受け、本会として1口10万円を協賛する方針が説明された。全ての議題が賛成多数で承認された。

最後に、江田総務理事より今後のスケジュールの確認があり、本理事会は終了した。

詳細な内容は、2020年度第1回理事会議事録(抄)を参照されたい。

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書 提出される

2020年4月6日(月)～8日(水)に、中澤会長、上島事務局長が議員会館を訪問し、「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を、加藤勝信厚生労働大臣をはじめ、橋本岳厚生労働副大臣、稲津久厚生労働副大臣、小島敏文厚生労働大臣政務官、自見はなこ厚生労働大臣政務官、さらに自由民主党 平口洋厚生労働部会長、新型コロナウイルス関連肺炎対策本部 田村憲久本部長、畦元将吾衆議院議員、診療放射線技師制度に関する議員懇話会 鴨下一郎会長、および公明党 診療放射線技師制度に関する議員懇話会 石田祝稔会長に提出した。

主な内容は、①「医療機関等に対する防護関連用具等の確保、配布」として、確保困難である防護用具の確実な配布と、CT検査時の換気装置の設置支援②「医療機関等における感染管理に関する専門家による指導の強化」として、CT検査等の放射線診療に関する対応について、専門家の指導やガイドラインの整備③「医療機関等における診療放射線技師職員への対応」として、自宅待機となった場合の補償支援——などの要望を挙げている。

要望書の内容は、本会ホームページをご参照いただきたい。



眼の水晶体の被ばく限度の見直しが公布される! ～施行は2021(令和3)年4月1日から～

2018(平成30)年3月2日に、放射線審議会会長は厚生労働大臣に対し、眼の水晶体に受ける等価線量に係る限度等に関する意見を具申した。その後、厚生労働省「眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する検討会」が設けられ、本会からは富田博信理事が出席した。検討会では、今般、厚生労働省において、放射線診療従事者等(エックス線装置、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用粒子線照射装置、診療用放射線照射装置、診療用放射線照射器具、放射性同位元素装備診療機器、診療用放射性同位元素または陽電子断層撮影診療用放射性同位元素の取り扱い、管理またはこれに付随する業務に従事する者であって管理区域に立ち入る者)の眼の水晶体に受ける等価線量に係る限度等を改めることとし、医療法施行規則の一部を改正する省令(令和2年厚生労働省令第81号)が2020(令和2)年4月1日に公布され、2021(令和3)年4月1日に施行されることとなった。

内容としては、放射線診療従事者等に係る眼の水晶体における等価線量限度について、1年間につき150mSvから50mSv

に引き下げるとともに、2021年4月1日以後5年ごとに区分した各期間で100mSvの限度を追加するというものだ。

なお、眼の水晶体に受ける等価線量の算定は、1センチメートル線量当量、3ミリメートル線量当量または70マイクロメートル線量当量のうち、いずれか適切なものによって行うこととする。そして放射線診療従事者等のうち、遮蔽^{しゃへい}その他の適切な放射線防護措置を講じてもその眼の水晶体に受ける等価線量が5年間で100mSvを超える恐れのある医師であり、その行う診療に高度の専門的な知識経験を必要とし、かつ、そのために後任者を容易に得ることができない者(経過措置対象医師)については、2021年4月1日から2023(令和5)年3月31日までの間、眼の水晶体における等価線量限度を、1年間につき50mSvとする。

われわれの現場でもいよいよ線量限度の引き下げとなることで、さらに厳格な線量管理と他職種への防護教育がますます診療放射線技師に期待されることとなる。

(文責:富田博信)

2019年度期末監査実施される

2020年4月21日(火)午後1時より、本会事務所で監査監事(室野井廣、新開英秀、小川利政)による2019年度期末監査が実施された。今回は、政府から新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令されたため、新開監査監事、小川監査監事、佐野副会長、熊代副会長の4人はWebで出席し開催された。

中澤会長より2019年度事業の総括が行われ、江田総務理事による庶務報告と事業ごとの報告が行われた。続いて小田理事による2019年度事業決算の報告が行われた。

これに対して、監査監事から口頭指導がなされた。主な指摘事項は、書類の表記を和暦か西暦のどちらかへそろえることや、監査資料の提出を迅速に行うことなどの指導がなされた。また会員が年々増加していることへの評価と、フレッシュセミナー受講者数と入会者数の関係などの報告につ

いての依頼がなされた。

中澤会長からは、書類関係は和暦で統一すること。フレッシュセミナーと受講者の関係資料は前回の理事会で地域理事へ数字提出を依頼しており、出そろい次第報告することが述べられた。また新型コロナウイルスの影響により、本年度のセミナーや講習会などは中止・延期となっているが、このウイルスが早く終息し、本会の研修会や講習会が開催されることを希望すると説明がなされた。

Web以外の出席者は顧問税理士、中澤会長、小田理事、江田理事、上島事務局長、木村専門職、鷺見専門職、加藤課長、横田事務局員、藪井事務局員、荒井事務局員であり、約3時間にわたり質疑応答が行われた。

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

医の倫理審査規程 制定される

新たに発足した医の倫理審査委員会により審議された医の倫理審査規程(案)が、2020年4月25日(土)に開催された2020年度第1回理事会で承認され、正式に制定された。

学術研究および学術大会などの活動の諸行為についての倫理に関しては、「臨床研究に関する倫理指針」に基づき、その適正を期する。学術研究に関する倫理ガイドライン第6条では、「会員は、臨床研究等を計画・実行する場合に、事前に会員の所属する施設の倫理委員会、またはそれと同等の役割を持つ責任者あるいは施設長から、倫理に関する承認を受けなければならない」とされている。一方で、中小規模施設においては施設内の倫理委員会が設けられていないケースも少なくない。そこで本会では、会員の皆さまへのさらなる研究活動支援および研究者に不利益が生じないように努めるべ

く、新たに医の倫理審査委員会を設置した。

該当される会員の皆さまにはぜひご活用いただき、さらなる医療技術の発展のための研究を継続していただきたい。

なお、医の倫理審査委員会は以下のメンバーで構成される。

中澤 靖夫(会長)
佐野 幹夫(委員長・副会長)
熊代 正行(副会長)
吉川 典子(理事)
中村 勝(理事)
児玉 直樹(理事)
豊田 長康(理事)
西貝 圭子(理事)
鈴木 毅厚(理事)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)における死亡時画像診断(Ai)の役割について

Ai分科会 会長 樋口 清孝

3月の初め、「COVID-19で亡くなった方のAi検査で何か注意することはあるか?」と日本医師会に問い合わせがあった。そこでわれわれはオートプシー・イメージング学会の理事の先生方と共に、COVID-19に罹患、またはその可能性のあるご遺体を病院などで撮影する際に留意すべきことについて議論した。そして3月10日(火)に「新型コロナウイルス感染症 COVID-19に関連したAi(死亡時画像診断)検査における留意事項」をJARTホームページに掲載した。さらに日本医師会から各都道府県医師会にも通知され、まだ科学的根拠が不十分な状況ではあったが、迅速に情報を発信することができた。

その後、COVID-19対策のフェーズも変化し、PCR検査陽性の軽症患者は医療機関以外の施設で療養が行われている。そのような中、変死体として発見されたご遺体が、その後のPCR検査で陽性と判明するケースも散見される状況である。その病態を解明するためにも、解剖やAiによる検索が望まれるところであり、それが今後のCOVID-19対策のエビデンスになることは明白で

ある。しかし、現実はその簡単ではない。これまで警察など外部からのAiを快く受け入れていた病院でも、今は受け入れを断らざるを得ない状況にある。その理由の一つが、院内クラスターに対する恐怖である。これまで院外からのAiにおいては感染リスクがあったが、今の医療現場ではPPE(个人防护具)の不足により、十分な感染防止策ができない。さらにCOVID-19対応で救急医療体制が様変わりし、そこに従事しているスタッフはご遺体の検査まで手が回らない状況である。よってAi検査の運用においては、Ai認定診療放射線技師が中心となり、各施設の状況に応じた対応をお願いしたい。

そしてこのような状況だからこそ必要性が明らかになったこともある。それは医療に依存せず死因究明できる体制を整備しておくことである。本年4月1日より死因究明等推進基本法が施行されたが、この騒動で知らないという方も多いかもしれない。この法には「安全で安心して暮らせる社会及び生命が尊重され個人の尊厳が保持される社会の実現に寄与することを目的とする」とあり、まさに未知の感染症から国民を守るためにも重要な

施策である。そこでAiの活用は極めて重要である。解剖による死因検索においては従事者の感染リスクが非常に高く、未知のウイルスであるが故に、そのための感染防止における準備や後処理においても多大な手間と労力がかかる。一方、Aiでは密閉された納体袋のまま検査が行えるため、感染のリスクを抑えることが可能である。また重症肺炎を来すCOVID-19では、CT所見が臨床診断上重要であり、Aiで得られた情報を迅速に臨床の現場へフィードバックできるというメリットもある。COVID-19陽性患者の中には、死亡の直接的な原因が肺

炎以外の場合もあり、この感染症の病態解明のためにもAiは必須の検査としての役割を持っている。ただ、すでに渦中にあるため対応は極めて困難といえるが、各地方自治体においては、その地域の状況に応じた死因究明などが行える体制を早急に整え、実行に移さなければならないと考える。

以上、Aiが持つ役割を最大限に生かすことが、この難局を乗り切る一助となるはずである。そしてAiに従事するスタッフが安全に業務できる環境が早く戻ってくることを切に願っている。

医療被ばく研究情報ネットワーク(J-RIME) 第12回総会 参加報告

医療被ばく安全管理委員会 鈴木 賢昭

2020年4月11日(土)に、医療被ばく研究情報ネットワーク(Japan Network for Research and Information on Medical Exposure: J-RIME)の総会が開催された。例年はJRCと併開されているが、本年度はCOVID-19の影響でWeb開催となった。

報告に先立ち、J-RIMEに関する説明をホームページより引用すると“国内外の機関や専門家と協力して、医療被ばくに関するさまざまな研究情報を収集し、これらの情報をお互いに共有する組織として2010年3月に設立されました。放射線診療における施設・機器・頻度・被ばく線量・リスク評価に関するデータを収集し、わが国の医療被ばくの実態把握を行うとともに、他の先進国と同程度の医療被ばく管理体制を国内に構築することを目指しています。そのために、行政、医療従事者、医療機器メーカー、放射線防護の専門家などの力を結集し、オールジャパンで医療被ばく問題に取り組んでいます”とあり、2020年4月11日現在で18の学協会で構成されている。

J-RIMEと聞けば診断参考レベル(DRLs2015)が頭に浮かぶ方も多いと拝察するが、DRLsの作成はJ-RIMEの活動の一部であり、実際には多岐にわたる検討が行われている。例えば参加団体からの放射線診療の実態報告や国際放射線単位測定委員会(The International Commission on Radiation Units and

Measurements: ICRU) Reportや、国際放射線防護委員会(International Commission on Radiological Protection: ICRP) Publicationの臨床導入などに関する検討も行われている。

総会に話題を戻す。議事は、前回の持ち越し議案を含めた確認事項に始まり、団体会員の新規加入、会則の改定、DRLs改定、各団体の活動報告が主な議案であった。

本年度の注目はDRLs2020であると考えられる。DRLsの改定作業の経緯を付記すると、まず参加団体から構成されるPT(Project Team)が編成され、DRLsのモダリティなど概要が議論された。この結果を受けて、PTより選出されたWG(Working Group)が各モダリティに分かれて調査・解析を行い草案が作成された後、この草案を基にWG間での擦り合わせ作業が行われ、PTでの確認を経て今回の改定に至った。特筆すべきは、診断透視領域の新設とIVRをはじめとした各領域において行為別に編成されたことである。現(執筆)時点では各団体での承認作業中であり、6月中旬の発表を目標に調整中である。詳細な内容は、下記URLでご確認いただき、放射線診療の最適化にご活用いただけることを心から願う。

【J-RIME URL】

<http://www.radher.jp/J-RIME/index.html>

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連リンク

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について、有益な情報となるサイトなどを以下にまとめ、掲載しております。ご参考にしていただき、各ご施設の感染対策に努めていただければ幸いです。

1. 新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
2. 「新型コロナウイルス感染症の対応について」(内閣官房)
http://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html
3. 新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言(2020/5/4)(新型コロナウイルス感染症対策専門家会議)(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000627559.pdf>
4. 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」(2020/5/7掲載)(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html
5. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策～妊婦の方々へ～(2020年5月14日版)(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/content/000630612.pdf>
6. 新型コロナウイルスに関するQ&A(医療機関・検査機関の方向け)(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00004.html
7. WHO(Situation Reports)Webサイト
<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/situation-reports/>
8. COVID-19 Dashboard by the Center for Systems Science and Engineering(CSSE) at Johns Hopkins University
<https://gisanddata.maps.arcgis.com/apps/opsdashboard/index.html#/bda7594740fd40299423467b48e9ecf6>
9. 「COVID-19 パンデミックにおけるCT検査」CT Examination during the pandemic COVID-19(ISRRT)
<https://www.elearning.isrrt.org/course/view.php?id=13#section-1>
10. 「パンデミック中に診療放射線技師の安全に関する5つのポイント」
5 tips for keeping radiologic technologists safe on the job during the pandemic(RADIOLOGY BUSINESS)
<https://www.radiologybusiness.com/topics/care-delivery/radiologic-technologists-chest-x-ray-ct-coronavirus-imaging>
11. COVID-19関連サイト集(日本医学会連合)
https://www.jmsf.or.jp/info_covid19_newslist.html
12. COVID-19 関連資料 関連論文(日本救急撮影技師認定機構)
<http://www.jert.jp/news/covid19/index.html>
13. 新型コロナウイルス(COVID-19)における医療従事者の感染防止の重要性(日本X線CT専門技師認定機構)
<http://www.ct-ninteikou.jp/pdf/20200408.pdf>
14. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応について(日本環境感染学会)
http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=328
15. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応について(日本感染症学会)
http://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=31
16. 新型コロナウイルス感染症(日本医師会)
https://www.med.or.jp/doctor/kansen/novel_corona/009082.html
17. 新型コロナウイルス(COVID-19)関連情報一覧(日本放射線科専門医会・医会)
https://jcr.or.jp/covid19_2020/
18. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連する情報(日本医学放射線学会)
http://www.radiology.jp/member_info/info_covid_19_jp_list.html

2020年 春の叙勲受章者 —おめでとうございます—

旭日双光章	相模 司 (秋田県)				
瑞宝双光章	桑原 秀雄 (香川県)	小池 正行 (埼玉県)	多久和 豊 (島根県)	南保 修 (愛知県)	
	橋本 正則 (福岡県)	播間 利光 (兵庫県)	福田儀三郎 (北海道)	松尾 正敏 (長崎県)	
	山崎 尚人 (神奈川県)	稲見 清和 (宮城県)	坂久保正美 (神奈川県)	佐藤 政春 (福島県)	
	関根 一正 (群馬県)	村田 勉 (茨城県)	荒井 博史 (北海道)	伊藤 陸郎 (福島県)	
	竹田 浩康 (静岡県)	藤森 明 (青森県)			
瑞宝単光章	矢野 敬一 (東京都)				

(敬称略・順不同、括弧内は所属地区)

INFORMATION

英文誌 Journal of JART —English edition 2020— 発刊のお知らせ

このたび、英文誌 Journal of JART —English edition 2020—を発刊致しました。
本誌の内容は、本会の取り組みや学会での講演の様子をまとめた特集、さらには学術コンテンツとして、JART会誌へ掲載済みの論文・寄稿の中より優れたものを掲載しております。

※英文誌 Journal of JARTは、会員の皆さまに電子配信とさせていただきます。
以下の本会Webサイトより、ご自身でダウンロードくださいますようお願い致します。

本会ホームページの“活動について About activity”の“定期刊行物”の“Journal of JART —English edition 2020—”からダウンロードできます。
ダウンロード URL は、<http://www.jart.jp/activity/jjart.html> です。



INFORMATION

目線をかえてふらりとあるく

シリーズ連載
series serialization

五感 — five senses

道を歩くのは先に目的場所があり、そこに向かって進むのが普通であるが、最近は運動不足を解消する目的も兼ねて、カメラと一緒にあてもなく街角を歩くのを楽しんでいる。歩きながら普段は見えないものや景観を楽しみ、気になるものにレンズを向けてシャッターを押している。風景写真の題材になるような農村風景やスタイリッシュな都会よりも、少しうらぶれた歓楽街、ほぼ住人が居ないようなアパートがある場所など、モノと人の暮らし、歴史が混じり合い、言葉では表現しづらい景観に引かれる。建物と建物の間に、誰にも気付かれることがなく咲いている雑草の花、増築・修理の跡があらさまに分かる歴史を語りかけてくる家の壁など、興味は尽きない。

2年前の正月すぎ、街角散策中に、ふと建物の2階から視線を感じたような気がして見上げると、そこには国民的なアニメキャラクターの猫の縫いぐるみがちらを見ていた。思わずにっこり。居酒屋の2階のようで、看板にある屋号とのミスマッチにもうれしくなり、軽く数回シャッターを押した。帰宅して

画像を確認してみると、撮影時には気付かなかったカラスと一緒に写っていた。ガラス窓に反射した陰影だった。“静”を撮影したつもりがカラスの登場で“動”の瞬間も写って、より記憶に残せる写真となった。



固定観念を捨て、目線を変えて意識をニュートラルにする時間は、気持ちに余裕+αを与えてくれる。時代・環境の変化で私の感性も川の流れのごとく変容していくと思うが、運動不足の解消とカメラ持ち散策でいろんなモノに出会い、感じて記録することをこれからも継続していきたい。

(文責：廣木昭則)

INFORMATION

第9回 第36回日本診療放射線技師学術大会

宮城への道

宮城県放射線技師会 広報部

宮城の状況

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになった方々、またご遺族の皆さまに謹んで哀悼の意を表するとともに、罹患されている方々に心よりお見舞い申し上げます。

また皆さまも対策で大変な状況の方も多いことと思いますが、ご自愛のほどお祈り申し上げます。

この世界規模での厳しい状況の中で先の見えない不安が募りますが、1日も早い終息を祈るばかりです。会場となる仙台は新緑が一斉に芽吹いて、けやき並木が明るい装いを見せています。宮城県放射線技師会では10月の第36回日本診療放射線技師学術大会に向けて準備を行っておりますが、このような状況においても、演題発表や大会参加の申し込みをたくさんの方から頂きました。実行委員会として大変感謝しております。

10月の学術大会には、新型コロナウイルス感染拡大防止策などの最善の準備を行い、皆さまをお迎えしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

来月は引き続き、宮城・仙台の情報をお伝え致します。

INFORMATION

第36回日本診療放射線技師学術大会 宿泊予約について

第36回日本診療放射線技師学術大会期間中は、宮城県内で開催されるイベントのため、宿泊施設の確保が困難になることが予想されます。

第36回日本診療放射線技師学術大会ホームページに宿泊案内がございます。早めの宿泊施設の確保をお願い致します。

INFORMATION

本会への入会手続きについて (お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から“新規入会はこちらから”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-5405-3612 E-mail : info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。



第36回 The 36th Japan Conference of Radiological Technologist (JCRT)

日本診療放射線技師学会 In Sendai

国民と共にチーム医療を推進しよう
Let's promote team medical care with the nation

人と技術をつなぐ令和の未来へ
To the future of Reiwa connecting people and technology

会期
Date

2020年
10月23日(金) ▶ 25日(日)

会場
Venue

仙台国際センター

会長
President

中澤 靖夫 Yasuo Nakazawa
公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

大会長
Chairman

立花 茂 Shigeru Tachibana
公益社団法人 宮城県放射線技師会 会長

主催

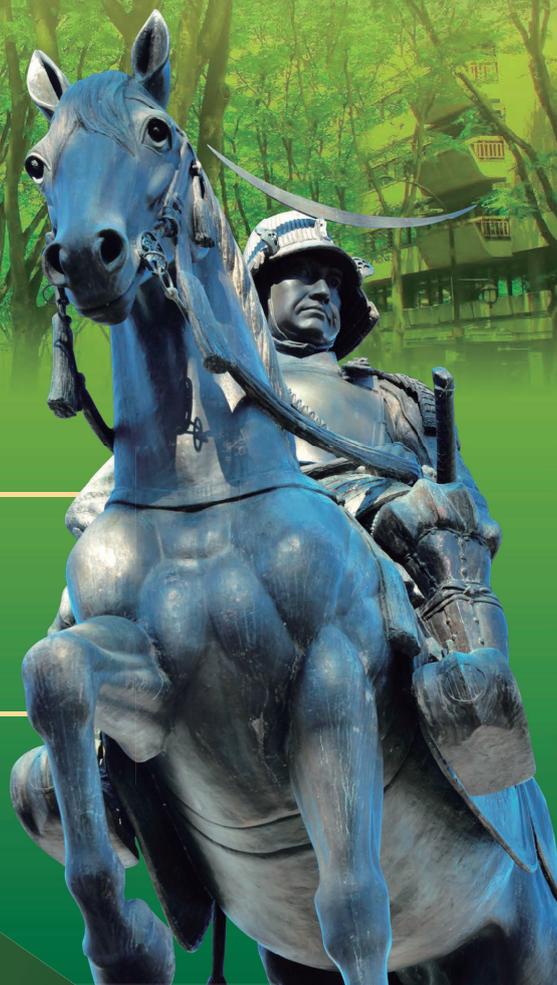
公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催

公益社団法人 宮城県放射線技師会

後援

厚生労働省 (予定)
宮城県 (予定)
仙台市 (予定)



運営事務局 公益社団法人 宮城県放射線技師会 事務局

〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷三丁目4番15号 TEL : 022 (388) 3777 FAX : 022 (388) 3778

6月・7月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 放射線取扱主任者定期講習：東京 6月19日(金)
- モニタ精度管理セミナー：東京 6月20日(土)
- 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会：愛知 7月11日(土)
- 放射線被ばく相談員講習会：東京 7月18日(土)～19日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応のため中止致しました。

- 画像等手術支援認定資格試験：東京・埼玉・京都・福岡 6月21日(日) → 延期
※開催日が決まり次第、改めてご案内させていただきます。

ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html

- 第2回：東京 6月13日(土)～14日(日)
- 第3回：東京 7月11日(土)～12日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応のため中止致しました。

「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt00000603l.html

- 基礎講習 基礎技術コース(会場型)(X線CT検査)：島根 7月4日(土)
- 基礎講習 基礎技術コース(会場型)(血管造影)：愛媛 7月12日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応のため中止致しました。

会員情報システム(JARTIS)更新に伴う、会費・受講料等の支払い方法の変更について

INFORMATION

本会では、会員の皆さまの会費・受講料等の支払いの利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化に向けた取り組みを推進しております。

このたびのJARTIS更新に伴い、以下の通り支払い方法の変更を計画しております。

まず、8月初旬の新JARTIS稼働に合わせて従来の方法に加え、これまでご要望の多かった「クレジットカード払い」ができるよう変更し、その後、2024(令和6)年度をめどに完全ペーパーレス化を進めてまいります。

皆さまにおかれましては、ご承知おきいただくとともに、移行に当たりご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人日本診療放射線技師会 財務委員会・事務局

会費・受講料等の支払い方法について

	2019 (令和1) 実績	2020 (令和2) 7/9まで	2020 (令和2) 8/10	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)	2025 (令和7)	2026 (令和8)
コンビニ払込票	25,493	●	●	●	●	●	●		
コンビニペーパーレス	2,600	●	●	●	●	●	●	●	●
郵便局	8,596	●	●	●	●				
銀行払込票	1,107	●	●	●	●				
銀行ペーパーレス	-	▲	▲	▲	▲	●	●	●	●
クレジットカード	-		●	●	●	●	●	●	●

- 1 新情報システムリリース(2020(令和2)年8月10日)より、クレジットカード払いに対応致します。
- 2 2022(令和4)年度をもって、郵便局および銀行払込票を中止致します。
- 3 2023(令和5)年度より、銀行ペーパーレスを本格的に実施致します。
- 4 2025(令和7)年度より、完全ペーパーレス化致します。
- 5 会員の支払い方法の割合により、計画は前後することがあります。
- 6 今後、社会において新しい支払いサービスが登場したら、随時検討致します。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。